



Parlange & Illouz
パルランジェ・エ・イルーズ



ジェレミ・ルイーズとポール・パルランジェが2008年、カオールに創設したメゾン。オーナーは、「忘れられたテロワールの潜在力を人々に認識させたい。フランスでは、全てのアペラシオンでグラン・ヴァンを作ることができる」という信念の持ち主。ジェレミとポールは、ロワール、ボルドー、ピュリニー・モンラッシュ、さらにアゼルバイジャン（ジョージア南東の隣国）で経験を積んだ。2011年には6haの自社畑を獲得。マルベックとジュランソン・ノワールを中心に、ピオロジックで栽培。単なるピオロジックにとどまらず“動物を介させた多角農法”を標榜し、アグロセールの認証も取得した。マルベックは1975年植樹の貴重な古木も多い。畑は全てセラーから半径1km以内。発酵は野生酵母のみで、熟成には木樽とコンクリート・タンクを併用。「マルベックという品種が表現する、他のどこにもないニュアンスに魅了されて選んだ土地、カオール。そのテロワールの偉大さを伝えたい」と邁進している。

	<p>OVdF - Blanc ブラン</p>		<p>備考</p> <p>2010年代、遅霜が頻発したことから、実験的に植えたユニ・ブラン。萌芽が他の品種に比べて遅いので、遅霜を回避できると期待して植えた。初年度の2021年VTは極度に冷涼な年であったこともあり、アルコール度数10%のワインが出来た。</p>
<p>畑</p>	<p>品種：ユニ・ブラン100% 植樹：2018年 位置：南向き 土壌：粘土石灰質</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタングで5日間マセレーション ステンレスタングで6か月間熟成 ノーフィルター</p>	
	<p>●VdF - La Pièce ラ・ピエス</p>		<p>備考</p> <p>ネゴシアンの中核的なものはアペラシオンによって選別された区画で、その地は私たちが見つけることができたテロワールの中で最もよい区画だと思っています。（土壌、環境、ブドウの健康状態など） ですので、私たちはこのワインを「La Pièce」（＝ラ・ピエス）と名付けました。なぜならこのワインは畑の1区画、畑の一部分をなしているからです。</p>
<p>畑</p>	<p>品種：マルベック100% 植樹：1980年～1990年ごろ 位置：海拔300m 土壌：区画は粘土・石灰質</p>	<p>醸造</p> <p>48時間～15日間マセレーション。 ステンレスタングでマロラクティック発酵。 コンクリートタンク内、樽の上で10ヶ月間熟成。</p>	
	<p>●VdF - Haute Pièce オート・ピエス</p>		<p>備考</p> <p>カオールの中でも標高の高さに由来する最高級の畑の、最も古いマルベックからつくられる。古樹ならではの、より複雑で多層性を舌の上を感じる味わい。</p>
<p>畑</p>	<p>品種：マルベック100% 植樹：1975年 位置：標高300m 土壌：石灰粘土質</p>	<p>醸造</p> <p>木樽で18ヶ月熟成。</p>	
	<p>●VdF - Cajolle カジョール</p>		<p>備考</p> <p>「カジョール」は石づくりの小屋を意味する。最初のヴィンテッジを、近代的な設備のない石造りの小屋で作ったことに由来する。ジュランソン・ノワールはナントやアルマニャックのエリアでしばしば植えられるフォル・ブランシュとマルベックの交配品種で、華やかな果実味を備えたワインが出来た。品種の構成はヴィンテッジにより変更あり。</p>
<p>畑</p>	<p>品種：ジュランソン・ノワール、マルベック、サンソー 植樹：1975年 位置：標高300m 土壌：石灰粘土質</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタング醗酵。 木樽で11ヶ月熟成。</p>	